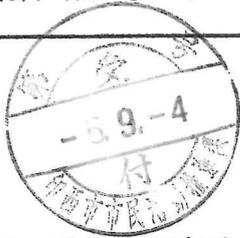


(提案書 様式①-2 アイデア審査・最終審査)



協働の機会提案書(継続提案用)

令和 6年 9月 4日

(あて先) 印西市長

(登録者) 登録番号 20-001
 名称 NPO法人 エコネットちば
 所在地 印西市
 代表者 理事長 齊藤 敏男
 連絡先
 E-mail

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

自由提案型 指定テーマ型

提案事業名	竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業
現状・課題 (前年度の実施を踏 まえた課題)	協働事業に提案、継続した維持管理により環境が保全でき、植える花にも工夫して充実してきた。地域住民の憩い、癒し、そして健康増進の場として、地域住民に愛され利用されている。
提案理由	繰り返し訪れる人の多い竹袋調整池と周辺地域は、景観に恵まれ野鳥も飛来する自然豊かな憩いの場所です。印西市の花名所として市民はもとより隣接する地域の人々にも愛されている。この景観と環境を保つためには継続した維持管理が必要です。
提案内容	1. 花畑の整備・維持 2. 緑地の定期的な草刈 3. 随時のごみ清掃 4. 放流口の浮遊物除去 で癒しの景観と快適な環境を維持します。
貴団体の特性、協働 で実施するメリット	エコネットちばは地元で活動する団体で、地域住民・学校・幼稚園や他市民活動団体と協力して、花畑づくりや地域まつり(コスモスまつり、芝桜まつり)を実施してきた。今後も行政と協働事業で維持管理することで、より良い癒し憩いの場を提供でき、地域の期待に応えられます。
継続実施により 得られる効果	・憩い・癒しの場の整備で、環境保全が継続でき、地域住民の健康増進にも寄与でき、地域コミュニティの交流の場を提供できる。

協働事業計画書			
事業名	竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業		
事業の目的	竹袋調整池と周辺地域は自然豊かで景観に恵まれ市民の憩いの場となっています。この環境を保全するため年間を通じた維持管理を行います。		
市の施策上の位置付け及び協働部署	(施策名) 緑あふれる居住環境の実現 (部署名) 都市整備課		
事業期間	令和 7年 4月 1日 ~ 令和 8年 3月 31日		
事業の内容 詳細に役割分担別に記入 (役割分担を、できれば事前に市の担当に相談して記すか、希望を記す)	提案者	市	
	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的な草刈り ○花畑の整備 ○植栽の管理 ○日常随時のごみ清掃 ○放流口のごみ除去 	<ul style="list-style-type: none"> ○維持管理の相談・協議 ○植栽管理の指導・助言 ○花(コスモス)の種の提供 	
事業に要する経費 ※詳細については、様式③による	45,500円	3,094,000円	
事業の運営体制 (事業関係者、協力者、有資格者など)	農機具操作・造園作業に精通した会員を指導員として、会員15名とボランティアの協力体制で維持管理します。		
協働のメリット (各立場にとっての効果を簡潔に)	提案者	市民	市
	竹袋調整池周辺地域の維持管理で環境保全ができ、市民に憩いの場を提供、ふれあいのまちづくりへ展開できます。	年間を通して憩い・癒し・健康増進の場として利用でき、地域住民と交流の機会が広がります。	市民に愛される魅力ある地域拠点ができ、環境美化が図られ、市民サービス、地域の魅力が図れます。
対話方法 市との協議や打ち合わせ方法	定期的に計画事業の活動報告を行うとともに、随時・異常気象時の巡回・報告・協議・処置で安全確保と環境保全に努めます。		
事業の周知の方法	花畑の開花情報を市広報誌・HP、地域ケーブルテレビ・地域ミニコミ誌等への情報提供、現地掲示板による案内。		
評価の方法 (具体的な目標値)	様々な花の開花期間(日数)、コスモス(花畑開放・刈取りOK期間)・芝桜(観賞と写真撮影期間)の概ね来場者数、あわせて感想・ご意見を聴取する。		
備考	(関係団体等) 地域町内会、小中学校、幼稚園、市民活動団体、高齢者施設		
	(添付書類) 竹袋調整池作業図、スケジュール		

(提案書 様式③)

企画提案型協働事業経費内訳書

総事業費(無償分を含む)

金 3,813,700 円

市から団体への委託費

(金 3,094,000 円)

【歳入】

項目	積算根拠(内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
市に負担を求める額		3,094,000
その他収入		
提案者負担分		45,500
無償労働力等換算金額	労働力 508,200円、 機材 166,000円	(674,200)
合計(無償分を含めない)		3,139,500
無償分を含めた合計額		(3,813,700)

【歳出】

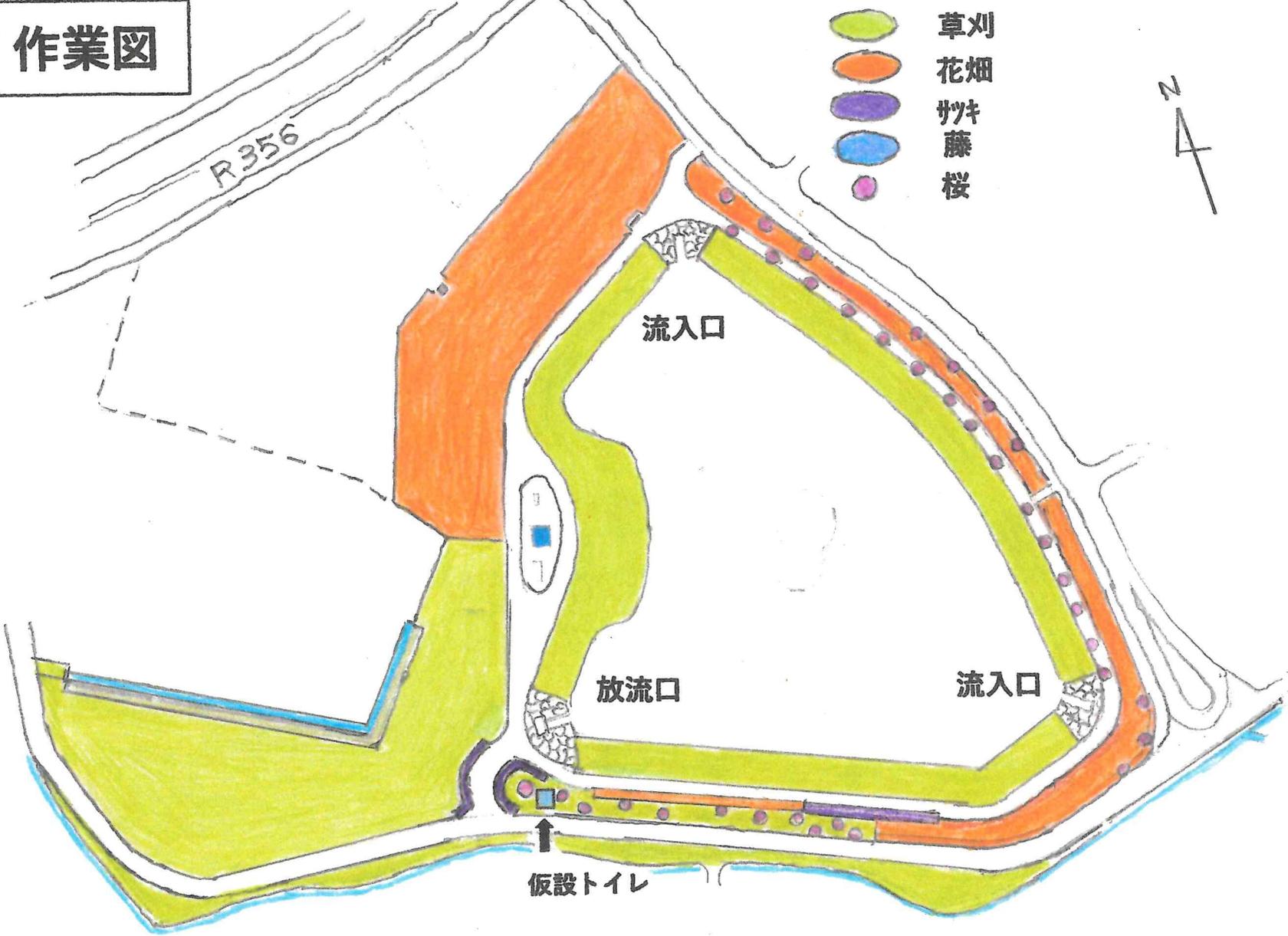
項目	積算根拠(内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
作業費	草刈(機械) 面積10,000㎡ 7回×157,000円/回	1,099,000
	耕運(花畑) 面積3,700㎡ 6回×65,000円/回	390,000
	施肥(花畑) 面積3,700㎡ 6回×80,000円/回	480,000
	消毒(花畑) 面積3,700㎡ 3回×45,000円/回	135,000
	植栽管理(桜37本、サツキ130㎡) 200,000円/年	200,000
	苗植(花畑) 面積 2,200㎡ 2回×150,000円/回	300,000
	種蒔(花畑) 面積 2,200㎡ 2回×50,000円/回	100,000
	除草(花畑) 面積 500㎡ 6回×25,000円/回	150,000
賃借料	仮設トイレレンタル 1棟 60,000円/年	60,000
保険料	損害保険 180,000円	180,000
提案者が負担する 無償労働力	1,050円×484時間=508,200円 (施肥20h、苗植30h、種蒔き20h、散水20h、 花畑除草70h、植栽管理8h、樹木消毒12h、 放水口清掃28h、側溝泥揚げ12h、ゴミ拾い24h、 イベント対応240h)	(508,200)
提案者が負担する 無償機材等	草刈機(肩掛) 3,000円/回×6台×7日=126,000円 管理機(除草) 4,000円/回×2台×5日=40,000円	(166,000)
提案者が負担する その他の費用	案内看板、掲示板、注意喚起看板等一式 し尿汲み取り 5,500円×1/回・年	40,000 5,500
合計(無償分を含めない)		3,139,500
無償分を含めた合計額		(3,813,700)

(提案書 様式④)

年間事業スケジュール

実施予定日	活動内容	参加人数
		延べ人数
4月上～中旬	(芝桜まつり)	(24名)
5月～11月	草刈り作業(7回)	70名
5月上旬～	耕運(6回)	18名
6月下旬～	施肥(6回)	18名
6月中旬～	苗植え(2回)	30名
6月中旬～	散水(10回)	10名
7月下旬～	種蒔き(2回)	14名
7月下旬～	花畑消毒(3回)	9名
7月下旬～	樹木消毒(2回)	6名
5月上旬～	花畑除草(芝桜他)	49名
9月中～10月上旬	(コスモスまつり)(花畑開放)	(24名)
年間	植栽管理(剪定等)	8名
年間	周辺環境整備(ごみ拾い)	24名
年間	放水口のごみ除去(随時)	14名
年間	仮設トイレ清掃(設置5月)	24名
年間	側溝泥上げ(随時)	6名
		計300名 (48名)

作業図



(提案書様式①-2 アイデア審査・最終審査)

 協働の機会提案書(継続提案用)													
令和6年9月13日													
(あて先)印西市長													
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>(登録者)</td> <td>登録番号 04 — 007</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>みんなのいっぽ</td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>印西市 XXXXXXXXXX</td> </tr> <tr> <td>代表者</td> <td>伊藤かおり</td> </tr> <tr> <td>連絡先</td> <td>XXXXXXXXXX</td> </tr> <tr> <td>E-mail</td> <td>XXXXXXXXXX</td> </tr> </table>	(登録者)	登録番号 04 — 007	名称	みんなのいっぽ	所在地	印西市 XXXXXXXXXX	代表者	伊藤かおり	連絡先	XXXXXXXXXX	E-mail	XXXXXXXXXX
(登録者)	登録番号 04 — 007												
名称	みんなのいっぽ												
所在地	印西市 XXXXXXXXXX												
代表者	伊藤かおり												
連絡先	XXXXXXXXXX												
E-mail	XXXXXXXXXX												
企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。													
<input type="checkbox"/> 自由提案型 <input checked="" type="checkbox"/> 指定テーマ型													
提案事業名	グリーンカーテン大作戦！ 「CO2を減らそう！ストップ温暖化大作戦！」												
現状・課題 (前年度の実施を踏 まえた課題)	2050年カーボンニュートラルに向けた世界的な動きの中、印西市は今年ゼロカーボンシティ宣言をした。第三次印西市環境基本計画に基づき市民・事業者・行政が一体となり地球温暖化に向けた取組を推進することが急務となっている。 印西市環境白書によれば印西市民の79.6%が環境問題に関心があると答える一方で「どのような取り組みをすればいいのか分からない」という声が40%に上り、「環境事業を行っていることを知らない」と答えた市民は41%に上っている。このことから環境問題に対する市民の高い意識を活かして、市の環境事業の認知を広め、市民と一体となった環境活動を促進していく必要がある。 令和5年度より印西市との協働事業によるグリーンカーテン大作戦を実施し、様々なカタチで市民にグリーンカーテンを広めると共に、地球温暖化について関心を高めることができた。 原小学校では、地球温暖化・環境問題の出前講座を行い、さらに総合学習の時間で自主学習として取り組み、授業参観で発表までを一連で行えたことで、子どもたち、さらには保護者の環境意識を高めることができた。 今後は、学校での出前講座をより多くの学校で開催していきたい。 これまでの活動を通して、市民のグリーンカーテンの苗を育てる技術についてはさらにサポートが必要であることがわかった。基本的な栽培技術や虫や病害に対する知識が足りず、枯らしてしまうケースが散見された。植物を栽培することを通して身近な自然の素晴らしさや自然環境とのつながりを感じてもらうためにも、栽培に関するフォローを強化していきたい。												
提案理由	市民アンケートによると32%の人が「環境事業に取り組む時間がない」と答え、235人が「個人で取り組んでも効果がない」と答えている。このことから、環境意識があまり高くない市民にとってもグリーンカーテンの効果を実感すること、楽しんで参加できることがポイント												

	<p>であると言える。</p> <p>提案内容は苗を配布するだけでなく、参加したくなるインセンティブ、栽培へのハードルを下げる栽培技術情報の提供、自然体験イベント・環境問題を楽しく学べる出前授業などを通しての効果や危機感の共有をすることに重点を置いている。</p> <p>参加者が増えることで、グリーンカーテンの設置数も増え、市民の環境意識が見える化することで、参加していない市民にも環境活動を意識してもらおうきっかけにつながると考えている。</p>
<p>提案内容 (予算の概算は提案書様式①-4)</p>	<p>グリーンカーテンの普及啓蒙、参加者を増やすには、以下の方法について取り組む必要がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)より活動をひろく周知するための発信方法として、SNS を活用する。 2)環境意識が低い市民の参加を促すため、設置者へのインセンティブになるようなコンテストへの参加特権を設ける。 3)公共施設へのグリーンカーテンの設置 4)学校での出前授業 5)印西市が取り組んでいる環境フェスタやクールシェアなどのイベント、また市民団体の主催するイベントなどに参加して、広く市民に参加機会をPRしていく。
<p>貴団体の特性、協働で実施するメリット</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなのいっぽのメンバーには元小学生教師がおり、出前事業などの実施において学校関係者との調整や当日の授業も経験を活かして実施することができる。 ・苗の作成については、農園経営者であるメンバーが技術・経験を活かして取り組むことができる。栽培のポイントや設置のコツなど市民が必要とする正しい栽培情報を SNS で適切に提供することができる。 ・これまで森のようちえんなど他の市民団体、イオンなどの商業施設とも協力しながら活動してきており、これまでの連携をベースに、苗の配布や普及啓蒙を行っていくことができる。
<p>継続実施により得られる効果 (自由提案型は今後の展望も記入)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や市民イベントなど環境意識が高い・低いにかかわらず様々な市民に普及啓蒙を行うことで、広く市民の環境意識を高めることができる。 ・公式ラインやインスタグラムなどの SNS の登録者を継続していくことができるので、一度参加した市民が、毎年参加しやすくなるように情報を提供することができる。

(提案書 様式② 最終審査)

協働事業計画書			
事業名	グリーンカーテンでゼロカーボン 「CO2を減らそう！ストップ温暖化大作戦！」		
事業の目的	地球温暖化に対する市民の意識を高める。		
市の施策上の位置付け及び協働部署	(施策名)自然との共生の実現 (部署名)環境経済部 環境保全課		
事業期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日		
事業に要する経費	提案者	市	
	・グリーンカーテンを使用した地球温暖化防止対策を市民に普及啓発 ・ゴーヤなどの種を苗に育成、配布 ・出前講座の実施	・広報いんざい及びホームページなどによる普及啓発 ・事業の財源確保 ・グリーンカーテンを設置する公共施設や出前授業を実施する教育機関との事前調整	
事業に要する経費 <small>※詳細については、様式③による</small>	0円	1,549,760円	
事業の運営体制 (事業関係者、協力者、有資格者など)	みんなのいっぽ ・イベント実施・普及啓蒙2名(元小学校教員、環境教育団体職員) ・苗の育成・参加者の栽培フォロー(農業者) ・経理1名・事務・SNS等の運営1名 【協力団体】みんなのおにわ(森のようちえん)		
協働のメリット (各立場にとっての効果を簡潔に)	提案者	市民	市
	・これまで活動してきた経験を生かして、地域に貢献し地域内のネットワークを広げる。 ・潜在的な参加者を発掘する。	・省エネルギーの推進。 ・苗の配布や啓蒙活動により栽培経験がなくても、手軽に、楽しく環境により暮らしを実現できる。 ・環境により街づくりに貢献できる。	・市民の主体性を引き出すことができる ・若年層、子育て世代など忙しい世帯の参加を促進できる ・運営管理コスト、時間の削減
対話方法 <small>市との協議や打ち合わせ方法</small>	毎月末に事業の進捗状況及び実績を、メール等で報告・情報交換する。		
事業の周知方法	公共施設、学校等へのチラシの配布、SNSの配信、広報いんざい、市ホームページへの掲載等。		
評価の方法 (具体的な目標値)	目標値 公式ライン登録者数・インスタグラムフォロワー合計 前年比150人増 コンテスト応募者数 100件 環境講座・イベント参加者 400人		
備考	関係団体等・みんなのおにわ、駄菓子屋あめちゃん その他(添付書類等)		

(提案書 様式③ 最終審査)

企画提案型協働事業経費内訳書

無償分を含む総事業費	(金 1,788,252 円)
うち市に負担を求める額(委託費)	金 1,549,760 円

【歳入】

項 目	積算根拠(内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
市に負担を求める額		1,549,760
提案者が負担する額		0
その他収入		
無償分を含めない合計額		
無償労働力等換算金額	労働力 192,384 円 機材費 41,500 円	(238,492)
無償分を含む総事業費		(1,788,252 円)

【歳出】

項 目	積算根拠(内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
種代	ゴーヤ 2L 40,000 円、ヘチマ 1,000 粒 11,000 円、バタフライピー100 粒 1,800 円(送料 1,600 円)、パッションフルーツ苗 10 個×5,900 円、ホップ苗各 10 個×800 円	121,400
育苗	1,000 苗×140 円	140,000
種配布用袋	種用の小袋 1,000 枚 53,060 円、ラベルシール印刷 1,000 枚(1 枚 1.8 円)	54,860
種袋詰め	種袋詰め・ラベルはり作業 1026 円/h×2 名×10h	20,520
公共機関への配布	市内5か所公共施設グリーンカーテン運搬・設置・管理サポート 1,026 円/h×2 名×10h×5 箇所 = 102,600 円	282,600
	運搬燃料 10,000 円	
	プランター、培土、ネット (5 施設各 20~30 苗) 新規プランター2,500 円×20 個、培土・追肥 1,500 円×10 個×5 箇所、ネット 1,800 円×5 個×5 箇所	

PR用品	PR パネル作成 A2 パネル 3 枚 4,500 円	78,858
	コンテスト募集用 A3 ポスター 40 枚 24,046 円	
	GCチャレンジ・コンテスト募集チラシ	
	1,000 枚 × 30 円/枚(カラー) = 30,000 円	
	デザイン作成 1,026 円/h × 12h = 12,312	
	持ち帰り用袋等備品 8,000 円	
PR・啓蒙普及 情報提供	質問対応・栽培情報・コンテスト情報発信 (Instagram 画像編集、投稿作成、7か月運用)	104,652
	1,026 円/h × 1 名 × 6h × 7か月 = 43,092 円	
	初心者向け取り付け・栽培・片付け方法情報発信 (youtube 動画 3 本収録編集)	
	1,026 円/h × 2 名 × 10h/1 本 × 3本 = 61,560 円	
GCコンテスト募 集・開催	公式ライン運用 7 カ月システム料	198,292
	5,000 円/月 × 7 カ月 = 35,000 円	
	エルメッセージ運用 5 か月システム料	
	10,780/月 × 5 か月 = 53,900 円	
	※配信数に応じて料金変動するため有料機関が 5 ヵ月と試算	
	システム構築・運用・募集・集計	
	1,026 円 × 1 名 × 10h/1 か月 × 8 カ月間 = 82,080 円	
	景品購入 1,000 円相当 × 10 名、5,000 円相当 × 1 名、 合計 15,000 円 郵送手続き 1,026 円/h × 2 名 × 6h = 12,312	
教育施設配布	小学校出前講座 3 回 (1 学年 200 人程度)	252,734
	前日・当日にかかる人件費	
	1,026 円 × 12h × 3 回 × 4 名 = 147,744	
	授業プラン作成および打ち合わせ	
	1,026 円 × 5h × 3 回 = 15,390	
	備品購入・資料作成・苗運搬費用 新規プランター 2,500 円 × 8 個、培土・追肥 1,500 円 × 12 袋、ネット 1,800 円 × 12 枚、備品 10,000 × 3	
市民配布	環境フェスタ、大型商業施設イベント等 3 回	100,404
	1,026 円 × 10 時間 × 3 名 = 30,780 円	
	備品・材料費 15,000 × 3 回	
	夏休み自由研究サポート・農園イベントでのチラシ・ 種・苗配布および育て方ガイダンス各 2h × 6 回	
	1,026 円/h × 2 名 × 2h × 6 回	
公共施設での設 置維持管理	学校、支所、市営施設でのグリーンカーテンの設置お よび管理	181,940
	新規プランター 2,500 円 × 8 個、培土・追肥 1,500 円 × 12 袋、ネット 1,800 円 × 12 枚、備品 10,000 × 3	
	1,026 円/h × 3 名 × 6h × 5 日	

イベント保険	市民配布 9 回 × 3 名 × 保険料 500 円/人	13,500
無償分を含めない合計額		1,549,760 円
提案者が負担する	全体の配布プラン作成	(196,992)
無償労働力(A)	1,026 円 × 2 名 × 3 日 × 12h = 73,872 円	
	集合住宅等でのチラシ設置場所確保・設置依頼	
	1,026 円 × 3 名 × 2 日 × 6h = 36,936 円	
	公共施設・事業者への事前連絡	
	1,026 円 × 2 名 × 10h = 20,520 円	
	チラシデザイン・苗タグデザイン打ち合わせ	
	1,026 円 × 2 名 × 8h × 4 日 = 65,664 円	
提案者が負担する	苗運搬用軽トラ 5 日 × 5,500 円/1 日 = 27,500 円	(41,500)
無償機材等(B)	撮影用機器 7 日 × 2,000 円/1 日 = 14,000	
無償労働力等換算金額	(A)+(B)	(238,492)
無償分を含む総事業費		1,788,252

年間事業スケジュール

実施予定日	活動内容	参加人数
5月	種の配布 SNS でのグリーンカーテンの効果魅力発信 GW イベント等での種、苗配布 SNS 発信 種の育て方 苗の設置の仕方の発信 公共機関等での種及び苗の配布 学校での環境講座と苗配布	GW イベント参加 50 人 一般市民 苗 350 個配布 公共機関 種 1,000 袋配布 苗 100 個配布 小学校 苗 200 個配布 小学校環境講座 受講者 250 人
6月	環境フェスタ・商業施設での苗の配布	環境フェスタ苗 250 配布
7月	SNS 配信 各植物の管理方法適宜配信	商業施設
8月	夏休みイベント・自由研究サポートなどでの意識啓発	イベント参加者 100 名
9月	グリーンカーテンコンテスト応募者募集	コンテスト応募数 100 人
10月	SNS 発信 片づけ方の発信	
11月	グリーンカーテンコンテスト集計	
12月	グリーンカーテンコンテスト結果発表・発信	
1月	事業総括	
2月		
3月	種、苗の選定 土造り 事業報告	

(提案書様式①-1 アイデア審査・最終審査)



協働の機会提案書(新規提案用)

2024年9月18日

(あて先) 印西市長

(登録者) 登録番号 06-004
 名称 一般社団法人SODO
 所在地 印西市
 代表者 鈴木 広美
 連絡先
 E-mail

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

自由提案型 指定テーマ型

提案事業名	里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業
現状・課題 (指定テーマ型の場合は テーマ名のみ記入)	—
提案理由	<p>■背景 近年、「自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させる」いわゆる<u>ネイチャーポジティブの取り組み推進</u>が国際目標となり、我が国においても、生物多様性国家戦略に反映されるとともに、自然共生サイトの認定などの関連施策が進められています。また、ビジネス分野においては、<u>多くの企業が、自然環境の回復への貢献ができる選択肢を模索</u>しています。</p> <p>■印西市の自然(里山)環境の保全・活用の意義 印西市は、ニュータウン開発等により人口が増加し、また、多くの企業による活動が展開される一方で、<u>市街地近郊に豊かな里山環境(台地上の草原・畑、樹林、湧水、水田、谷津等)が残されている稀有な地域</u>です。これらの里山環境は、生物多様性のみならず、<u>防災・減災、水循環、水質浄化、ウェルビーイング(幸福)の向上など、自然環境の有する多面的な機能を活かした「グリーンインフラ」として、複合的な地域課題の解決にも寄与</u>します。</p> <p>■印西市の自然(里山)環境の保全・活用に係る活動の現状 市内には、これらの里山の自然を守る市民活動団体が複数存在し、活動が展開されているとともに、大学・研究機関によりグリーンインフラ機能についての研究も進められています。</p>

	<p>■協議会の設置を提案する理由</p> <p><u>自然環境の保全に関心のある企業、市民団体、研究者、行政がそれぞれの強みを発揮し、市民団体間の連携を深めるなど各主体が有機的な連携を図ること</u>で、印西市の里山環境を良好に保ち、グリーンインフラとして持続的に活用する仕組みを構築できれば、<u>地域住民や企業が豊かな自然環境の恵みを享受し続けることに大きく寄与</u>することが期待できます。</p> <p>そこで、市と市民団体の協働により、里山の保全と活用に向けた検討・議論・情報共有等を行う協議会を設置することを提案します。</p>
<p>提案内容 (予算の概算は提案書様式①-4)</p>	<p>1)目標</p> <p>印西市内で活動する里山保全活動団体や市民、関心のある企業など、多種多様な主体の連携を図り、印西市の里山における、「生物多様性」、「水循環」等のグリーンインフラ機能の保全・活用に向けた管理体制を構築し、地域活性化に資する。</p> <p>2)対象とする里山(対象地)</p> <p>印西市が所有もしくは管理する里山的環境(台地上の草原・畑、樹林、湧水、水田、谷津等)を有する土地を対象とします。</p> <p>3)協議会の設置・開催</p> <p>市と市民団体との協働により、多様な主体が参画する協議会を設置します。協議会では、印西市の里山環境の現状把握、管理目標、管理体制等について検討・議論・調整するとともに、企業を含む多様な主体との新たな連携に向けたアクションについて議論します。</p> <p>①協議会の体制</p> <p>発足当初は以下のメンバーを想定するものとし、事業開始後、協議会発足時に運営規則等を定め、規程に則り、必要に応じて追加するものとします。</p> <p>【当初メンバー(案)】</p> <p>印西市:環境保全課、都市整備課、市民活動推進課、市民活動推進センター 市民活動団体:NPO 法人亀成川を愛する会、NPO 法人谷田武西の原っぱと森の会、NPO 法人ラーバン千葉ネットワーク、一社 SODO(事務局) 研究機関:国立環境研究所(気候変動適応センター副センター長 西廣淳氏)</p> <p>②協議会の開催頻度</p> <p>1ヶ月に1回程度の開催頻度を想定しています。</p> <p>③協議会の開催場所</p> <p>印西市役所内の会議室での開催を想定しています。</p>

4)協議会での取組内容(案)

当初想定する取組内容は以下の通りとし、協議会での検討・議論等を踏まえて、適宜見直しや追加をしていきます。

①～⑤の各検討結果は、協議会で適宜共有するとともに、検討成果は⑥に示す各種の広報手段により周知していきます。

①対象地(市所有・管理地)の現況把握(リスト・マップ作成等)

- ・ 印西市が所有または管理する土地(緑地等取組対象となり得る土地)の現状(自然環境の状況、管理状況等)の把握・整理(リスト化、マップ化等)

②里山保全活動団体等の現況把握

- ・ 印西市内で里山の保全活動等の活動を行っている市民団体等の現状(団体概要、活動内容等)の把握・整理(リスト化等)
- ・ 活動における課題、連携要望等の把握

③対象地における事業計画の検討

- ・ 先進地域における取組の調査、印西市での適用に係る検討
- ・ 既に市民活動団体等による維持管理が行われている対象地における新たな取組の検討
- ・ 市民活動団体等による維持管理が行われていない対象地における維持管理内容、体制の検討
- ・ 自然共生サイト^{※1}申請に係る検討(モニタリング計画立案、申請書類作成等)

※1:自然共生サイト:「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定する区域。認定区域は、保護地域との重複を除き、「OECM^{※2}」として国際データベースに登録される。

※2:OECM:生物多様性の価値があり、事業者、地域、行政等による様々な取組によって、生物多様性の保全が図られている区域(国立公園など、既に保護されている区域を除く)

④多様な主体の連携に係る検討

- ・ 先進地域における取組の調査、印西市での適用に係る検討
- ・ 市民活動団体間の連携(市有地以外で活動している団体も含む)、市民活動団体と企業の連携、地域内外の住民等との連携の促進に係る検討

⑤協議会の継続的な運営のあり方の検討

- ・ 協働事業終了年度以降の運営のあり方に係る検討

⇒本事業で設置する協議会は今後も継続的・発展的に運営されることが望ましいと考えています。そこで、協働事業終了後の継続も含めて、今後の運営体制、メンバー、取組内容等について、検討を行っていく予定です。

⑥事業の広報

a)事業内容・事業成果の情報発信(ホームページ)

⇒事業で作成したマップや資料、協議会での議論の結果等について、HP[※]等で市民や企業に事業内容や事業成果をオープンに情報発信することにより、印西市の里山環境の保全・再生やグリーンインフラとしての持続的な利活用の重要性等の意識啓発や、取組への参加促進を図る。

※提案団体・関連団体のホームページでの情報発信を想定しています。協議会での議論を踏まえて、検討・実施する予定です。

b)イベントでの広報

⇒グリーンインフライベント(一般市民・若者・企業向け)の開催

※グリーンインフラ・ネイチャーポジティブを活かしたまちづくりなどについて分かりやすく解説するとともに、本事業の目指す『多様な主体の連携による印西市の里山における、「生物多様性」、「水循環」等のグリーンインフラ機能の保全・活用』などの理解促進を図る。

⇒他イベント(市開催、他団体開催等)への出展(ポスター出展等)

c)庁内勉強会の開催

⇒本事業によって実現を目指す『印西市の里山における、「生物多様性」、「水循環」等のグリーンインフラ機能の保全・活用』は、印西市の進める数多くの施策と関わりがあり、より広範な部署との連携を図るため、グリーンインフラと市の施策の関わり等について共有・意見交換を図る。

d)里山保全団体交流会の開催

⇒市保有地・管理地で活動している団体に関わらず、広く市内で里山保全活動を行っている団体や関心のある団体を対象に、印西市の里山におけるグリーンインフラ機能の保全・活用等に関する講義等の情報提供を行うとともに、各団体の活動における課題等について共有・意見交換を図る。

※各活動団体の現状を把握するとともに、団体との意見交換や相談を踏まえ、必要に応じて、助言などを行う。

また、将来的な協議会メンバーとしての参画可能性を検討する。

貴団体の特性、協働で実施するメリット
(提案者が事業実施できる能力や有利なアピールポイント)

■継続的な里山保全活動実績

共同提案者のうち NPO 法人3者(亀成川を愛する会、谷田武西の原っぱと森の会、ラーバン千葉ネットワーク)は、市の保有・管理地を含む印西市内の里山保全活動を長年に渡って実践してきており、里山の現状や、今後の保全・活用における課題等について熟知しています。また、市内外の関連団体や企業、地域の方々との良好な関係を維持しており、事業を円滑に進めることができます。

■グリーンインフラの地域実装等に関する最先端の知見・ネットワーク

協議会での取組の推進体制には、グリーンインフラ・ネイチャーポジティブ及びその地域実装分野における我が国最先端の研究機関である国立環境研究所の協力を得られることとなっています。そのため、印西市におけるグリーンインフラの推進、ネイチャーポジティブの実現を図るにあたって、技術的支援や、最新の研究事例・国の動向等についての情報提供を受けることができます。また、国立環境研究所は、様々な研究機関や行政、企業等との連携により、北総地域での里山保全・活用の取組を先導しており、様々な地域主体とのネットワークを有していることから、事業を効果的に進めることができます。

■地域のグリーンインフラ分野に精通した協議会運営

共同提案者のうち一般社団法人SODO(協議会事務局担当)は、北総地域を中心とする千葉県内において、「生態系を賢く活かした豊かな地域づくりを推進する」ために設立された中間支援団体であり、地域の状況、行政の上位・関連計画など、本事業を進める上で必要となる情報に精通しています。また、市内外の関連団体や行政機関、企業等とのネットワークを有しており、事業を円滑に進めることができます。

■協議会の運営体制



- ✓ 市民活動団体間の連携の促進
- ✓ 企業や地域連携の促進
- ✓ ネイチャーポジティブの実現
- ✓ グリーンインフラの推進

地域の豊かなくらしの実現 (すみやすい都市の実感)

事業実施により
得られる効果
(自由提案型は今後の
展望も記入)

■事業実施により得られる主な効果

本事業の実施により、以下に挙げるようなことが実現できます。

本事業で直接的に実現できること	結果として実現が期待されること
<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の設立(市民・事業者・行政の協働による里山の保全・活用の仕組みづくり) ・里山の保全・活用に係る市民活動団体間の連携促進 ・里山の保全・活用に係る地域、企業の連携促進 ・連携によって保全・維持されている里山(市有地)の OECM[※]登録 ・印西市内の里山(市所有・管理地)の現状把握 ・HPを通じた情報発信による市民・企業への広報、意識啓発、参加促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山の保全・活用の推進 ・生物多様性の保全 ・グリーンインフラの推進 ・ネイチャーポジティブの推進 ・カーボンニュートラルへの貢献 ・地域の豊かな暮らしの実現 ・市民団体間の連携促進 (多様な主体の交流の場の創出)

※OECM:生物多様性の価値があり、事業者、地域、行政等による様々な取組によって、生物多様性の保全が図られている区域(国立公園など、既に保護されている区域を除く)

■関連する印西市の施策

本事業は印西市の進める施策と広範にかかわりがあり、以下に例示するような施策の実現に寄与することができます。

①印西市総合計画(自然との共生の実現)

②第3次印西市環境基本計画(樹林地・斜面林の保全、いきものの生息・生育空間の把握、多様な生態系の保全、水辺環境の保全、自然と調和したまちづくり、環境に配慮したまちづくりの推進、環境学習の場と機会の創出、各主体における環境配慮行動の推進、各主体間の連携促進、重点的な取組1:自然の力を活かそう!グリーンインフラ大作戦!)

③印西市緑の基本計画(樹林地の維持管理の仕組みの充実、樹林地の保全、耕作放棄地の活用、水辺環境の保全、健全な水循環の保全、河川の水質改善、生物の生息・生育空間の保全、緑あふれる景観の保全、緑地保全・緑化推進団体の育成、自然環境の活用、市民参加による管理・運営の推進、市民による樹林地の保全・活用制度の創設、協働による里山の調査・保全、緑に関する情報発信)

■今後の展望

上記「提案内容」にも記した通り、本事業で設置する協議会は今後も継続的・発展的に運営されることが望ましいと考えています。

そこで、協働事業終了後も協議会や協議会で実施した検討の継続が実現できるよう、将来の運営体制、メンバー、取組内容等について、検討を行います。

共同提案者名簿一覧

(登録者) 登録番号 05-002

名称 NPO法人亀成川を愛する会
所在地 印西市 [REDACTED]
代表者職氏名 理事長 小山 尚子
連絡先 [REDACTED]

(登録者) 登録番号 21-002

名称 特定非営利活動法人ラーバン千葉ネットワーク
所在地 印西市 [REDACTED]
代表者職氏名 理事長 丹澤 正直
連絡先 [REDACTED]

(登録者) 登録番号 23-003

名称 特定非営利活動法人谷田武西の原っぱと森の会
所在地 印西市 [REDACTED]
代表者職氏名 理事長 矢野 真理
連絡先 [REDACTED]

(登録者) 登録番号 —

名称
所在地
代表者職氏名
連絡先

※記入箇所が足りない場合は適宜追加してください。

協働事業計画書			
事業名	里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業		
事業の目的	市と市民団体が協働により協議会を設置することにより、印西市内で活動する里山保全活動団体や企業など多種多様な主体の連携を図り、印西市が所有・管理する里山を対象に、「生物多様性の保全」、「里山の水循環」、「地域活性化」の管理体制の構築を目指し、里山の保全・活用に取り組んでいくことを目的とします。		
市の施策上の位置付け及び協働部署	(施策名) 印西市総合計画 (自然との共生の実現)、第3次印西市環境基本計画、印西市緑の基本計画 (部署名) 環境保全課		
事業期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日		
事業の内容 詳細に役割分担別に記入 (役割分担を、できれば事前に市の担当に相談して記すか、希望を記す)	提案者		
	市		
事業に要する経費 ※詳細については、様式③による	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">135,000円</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">1,715,000円</td> </tr> </table>	135,000円	1,715,000円
135,000円	1,715,000円		
事業の運営体制 (事業関係者、協力者、有資格者など)	<div style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">地域の豊かな暮らしの実現 (すみやすい都市の実感)</p>		

	提案者	市民	市
協働のメリット (各立場にとっての効果を簡潔に)	○各団体の里山保全活動の量的・質的向上 ⇒企業や市民との連携 ⇒協議会での共有等を踏まえた活動へのフィードバック ⇒市の施策実現・グリーンインフラ機能の担い手としてのモチベーション向上 ○協議会を通じた各団体の課題解決	○身近に自然と触れ合い、親しむことができる多様な場（里山・緑地等）の確保 ○QOL、Well-being 向上	○多様な主体との連携による市の政策課題の実現
	○多様な価値観に対応した地域づくり、市の魅力の向上 ○市内の里山の維持・保全、グリーンインフラ機能の向上による気候変動や生物多様性などの地球規模の課題等への対応		
対話方法 市との協議や打ち合わせ方法	○協議会（1回/月）：事業の進捗状況や実績を共有・意見交換 ※その他、メール等で随時情報交換を行う。		
事業の周知方法	○市広報、ホームページへの掲載 ○事業内容・事業成果の情報発信（提案・関連団体のホームページ） ○庁内勉強会の開催（グリーンインフラにより課題解決できる可能性のある施策に関連する部署を対象） ○里山保全団体交流会の開催（市内の里山保全活動や関連団体を対象） ○イベントでの広報 ⇒グリーンインフライベントの開催 ⇒他イベントへの出展		
評価の方法 (具体的な目標値)	協議会：協議会の設立、継続的な運営に向けた検討 庁内勉強会・交流会・イベントの参加者：庁内勉強会（1回：20名）、交流会（1回：20名）、イベント（1回：50名） ※交流会・イベントは事業開始後の企画により同日実施の可能性あり 印西市内の里山の自然共生サイト認定：1箇所以上で認定（もしくは検討）		
備考	関係団体等：国立研究開発法人国立環境研究所気候変動適応センター 副センター長 西廣淳氏		
	その他（添付書類等）		

(提案書 様式③ 最終審査)

企画提案型協働事業経費内訳書

無償分を含む総事業費 (金 3, 255, 840 円)

うち市に負担を求める額 (委託費) 金 1, 715, 000 円

【歳入】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
市に負担を求める額	人件費(技術的検討に係る部分)、イベント開催経費	1,715,000
提案者が負担する額	旅費交通費、印刷製本費	135,000
その他収入		0
無償分を含めない合計額		1,850,000
無償労働力等換算金額	人件費(協議会等の開催に係る部分) 交通費(提案者以外が負担する額)	(1,405,840)
無償分を含む総事業費		(3, 255, 840)

【歳出】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
人件費	①対象地の現況把握(リスト・マップ化等) ※GISを用いたマップの作成等 15人日×23,500円 ^{※単価1}	352,000
	②里山保全活動団体の現況把握 ※専門的視点からの現況整理、課題の抽出 5人日×23,500円 ^{※単価1}	117,500
	③対象地における事業計画の検討 ③-1 新たな取組、維持管理内容・体制の検討 ※専門的視点からの検討 10人日×23,500円 ^{※単価1}	235,000
	③-2 自然共生サイト申請に係る検討 ※市保有・管理地の自然共生サイト申請に必要な情報整理、モニタリング計画策定、申請書類作成 15人日×23,500円 ^{※単価1}	352,500

■単価の設定根拠

1) 専門技術を要する作業の単価 (単価 1)

以下に挙げる専門技術を要する作業については、国土交通省設計業務委託等技術者単価 (コンサルタント単価) の最低ランクの技術者単価 (技術員) の70%相当額の単価を採用

- ・GIS等専門ツールを用いた作業 (マップの作成等)
- ・本事業を推進する上で必要となる専門的スキルを要する作業

令和6年度国土交通省設計業務委託等技術者単価

①設計業務

技術者の職種	基準日額(円)	割増対象賃金比(%)
主任技術者	80,200	55%
理事、技師長	75,800	55%
主任技師	64,800	55%
技師(A)	57,000	55%
技師(B)	47,200	55%
技師(C)	38,400	55%
技術員	33,600	55%

単価 1 : $33,600 \text{円} \times 70\% = 23,520 \text{円}$
 $\Rightarrow 23,500 \text{円}$
 ※100円単位未満切り捨て

(3) 設計業務等技術者

職種区分定義

- ① 主任技術者：先例が少なく、特殊な工法や解析を伴う極めて高度あるいは専門的な業務を指導統括する能力を有する技術者。
工学以外に社会、経済、環境等の多方面な分野にも精通し、総合的な判断力により業務を指導、統括する能力を有する技術者。
- ② 理事・技師長：複数の非定型業務を統括し、極めて高度で複合的な業務のプロジェクトマネージャーを務める技術者。
- ③ 主任技師：定型業務に精通し部下を指導して複数の業務を担当する。また、非定型業務を指導し最重要部分を担当する。
- ④ 技師(A)：一般的な定型業務に精通するとともに高度な定型業務を複数担当する。また、上司の指導のもとに非定型業務を担当する。
- ⑤ 技師(B)：一般的な定型業務を複数担当する。また、上司の包括的指示のもとに高度な定型業務を担当する。
- ⑥ 技師(C)：上司の包括的指示のもとに一般的な定型業務を担当する。また、上司の指導のもとに高度な定型業務を担当する。
- ⑦ 技術員：上司の指導のもとに一般的な定型業務の一部を担当する。また、補助員を指導して基礎的資料を作成する。

なお、職種区分定義で示されている定型業務、非定型業務については下記を参考に判断するものとする。

- 定型業務**
- ・調査項目、調査方法等が指定されており、作業量、所要工期等も明確な業務
 - ・参考となる類似業務があり、それらをベースに応用することが可能な比較的簡易な業務
 - ・設計条件、計画諸元の設定等が比較的容易で、立地条件や社会条件により業務遂行が大きく作用されない業務
- 非定型業務**
- ・調査項目、調査方法等が未定で、コンサルタントとしての経験から最適な業務計画、設計手法等を確立して対応することが求められる業務
 - ・比較検討のウエイトが高く、かつ新技術または高度技術と豊かな経験を要する大規模かつ重要構造物の設計業務
 - ・文化性、芸術性が特に重視される業務
 - ・先例が少ないか、実験解析、特殊な観測・診断等を要する業務
 - ・委員会運営や関係機関との調整等を要する業務
 - ・計画から設計まで一貫した業務

※本事業の実際の担当予定技術者は、主任技師相当～技師B相当の技術者となります。

2) 会議への参加（単価 2, 単価 3）

「謝金の標準支払基準」の改定について、平成 27 年 3 月 6 日、各府省等申合せを参考として単価を設定するものとし、区分 6（地方支分部局が開催する一般的なもの）を採用、1 回あたりの会議を 2 時間と想定

- ・ NPO 法人：幹事・専門委員の単価を採用 ⇒単価 2
- ・ 国立環境研究所：委員・臨時委員の単価を採用 ⇒単価 3

第 2 支払基準

1. 会議出席謝金支払基準

懇談会等行政運営上の会合（以下「会合」という。）への出席に対する会議出席謝金の日額及び時間単価は、原則として別表 1 の標準単価を適用する。

会合の主催者や影響度等を考慮し、別表 1 の備考を参考として、依頼する職名ごとに別表 1 の職名に対応する標準単価の中から適宜単価を選択する。

ただし、職名によらず一律の単価を設定する会合にあつては、別表 1 の標準単価の中から、適宜（日額と時間単価は区別する）単価を選択する。

【別表 1】

単価 3

単価 2

(単位：円)

職名別 単価 区分	標準単価					
	会長		委員（会員）・臨時委員		幹事・専門委員	
	日額	時間単価	日額	時間単価	日額	時間単価
①	22,700	11,300	19,600	9,800	17,700	8,800
②	20,500	10,200	17,700	8,800	15,700	7,800
③	18,400	9,200	16,100	8,000	13,700	6,800
④	16,400	8,200	14,000	7,000	11,700	5,800
⑤	14,400	7,200	12,000	6,000	9,700	4,800
⑥	12,300	6,100	9,900	4,900	7,600	3,800
⑦	10,300	5,100	7,900	3,900	5,600	2,800

(備考)

- ① 区分①は、中央府省等が開催する会合で最も上位とすることが適当としたもの。
- ② 区分②は、中央府省等が開催する会合で上位とすることが適当としたもの。
- ③ 区分③は、中央府省等が開催する会合で一般的なもの（大規模）。
- ④ 区分④は、中央府省等が開催する会合で一般的なもの（中規模）、又は地方支分部局が開催する会合で最も上位とすることが適当としたもの。
- ⑤ 区分⑤は、中央府省等が開催する会合で一般的なもの（小規模）、又は地方支分部局が開催する会合で上位とすることが適当としたもの。
- ⑥ 区分⑥は、中央府省等が開催する会合で下位とすることが適当としたもの、又は地方支分部局が開催する会合で一般的なもの。
- ⑦ 区分⑦は、他の区分より下位とすることが適当としたもの。

年間事業スケジュール

実施予定日	活動内容	参加人数 ^{※1}
4月上旬	市との打合せ・契約	4名
4月～3月	協議会の開催（1回/月程度，年12回）	15名
	検討事項 ①対象地の現況把握（リスト・マップ化等） ②里山保全活動団体の現況把握 ③対象地における事業計画の検討 ③-1 新たな取組、維持管理内容・体制の検討 ③-2 OECM登録に係る検討 ④多様な主体の連携に係る検討 ⑤事業の広報（HPを通じた情報提供等）	—
6月～7月 ^{※2}	庁内勉強会の開催	20名
8月～11月 ^{※2}	里山保全団体交流会の開催	20名
	グリーンインフライベントの開催	50名
3月下旬	市への実績報告	4名
	■成果一覧 ①対象地（市所有・管理地）の現況マップ・リスト ・印西市が所有または管理する土地（緑地等）の現状（自然環境の状況、管理状況等）を整理したマップ及びリスト ②里山保全活動団体等の現況リスト ・印西市内で里山の保全活動等の活動を行っている市民団体等の現状（団体概要、活動内容等）を整理したリスト ③成果報告書 ・上記①②に加え、以下の内容について取組成果をとりまとめた報告書 ⇒先進地域の取組事例調査、印西市での適用に係る検討 ⇒対象地における取組の検討（既に市民活動団体等による維持管理が行われている対象地における新たな取組、市民活動団体等による維持管理が行われていない対象地における維持管理内容、体制等） ⇒自然共生サイト申請に係る検討 ⇒多様な主体の連携に係る検討（市民活動団体間の連携、市民活動団体と企業の連携、地域内外の住民等との連携） ⇒協議会の継続的な運営のあり方の検討	

※1：想定人数

※2：開催時期は協議・調整により設定

(提案書様式①-1 最終審査)

 協働の機会提案書 (新規提案用)	
2024年9月18日	
(あて先) 印西市長	
(登録者) 登録番号 06-001 名称 印西市市民公益活動団体 Shake Hands 所在地 印西市 [REDACTED] 代表者 齋藤 ちぐれ 連絡先 [REDACTED] E-mail [REDACTED]	
企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。	
<input type="checkbox"/> 自由提案型 <input checked="" type="checkbox"/> 指定テーマ型	
提案事業名	#私たちの保健室～みんなで繋がり合える印西市を目指して～
現状・課題 (指定テーマ型の 場合はテーマ名の み記入)	男女共同参画に関わる啓発事業の実施
提案理由	Shake Handsは「子どもと保護者のどうしようを解決するお手伝いをする」団体です。 ・生理がある全ての子どもたちに快適な日常生活を提供 ・思春期の子どもたちの生理にまつわる不安・疑問を解消 ・生理の仕組みや正しい生理用品の知識習得 ・親子関係の再構築支援 ・女性特有の健康意識向上 これらの性(生)教育を通じて男女平等及び多様性を尊重し自他の心身・生命を大切にできる子どもを育むことを大切に活動してきました。 この活動内容は今回の指定テーマと重なる部分も多く、私たちの活動実績をもって、広く市民の皆様にも男女共同参画の推進を図れると感じたため。
提案内容 (予算の概算は 提案書様式①-4)	①初めての生理セット配布 初潮を迎える小学校5年生～中学校3年生に家庭ではなかなか購入に至らない、価格以外の機能性や品質にこだわった生理用品を配布し、家庭での月経にまつわる話をするきっかけを作る。 ①は協議の結果提案を取り下げる ②性教育出張講座 学校ごとに合わせたオーガナイザーの性教育授業 ア) 修学旅行前性教育授業 一生理のしくみ講話と実験、生理用品の使い方(女子児童のみ) 男女ともに生理の仕組みについて吸水実験などを行いながら学ぶことで、怪我をしたときの出血量との違いや、生理中に苦しんでいる人にどのように接すれば良いのかを考える機会をつくり、修学旅行という保護者がいない環境下においても慌てずお互い助け合えることができる イ) 思春期の心と体についての授業 一思春期におこる心と体のアップデート、生理のしくみ講話と実験(男女児童) 一生理用品の種類と使い方(女子児童のみ) 思春期に個人差があるもの一同に学ぶことで、すでに起きている変化、これから起きる変化に柔軟に対応していきける知識を身につける。 中学生になると制服の下に体操服を着て、学校生活を過ごすことが多くなるため、その状態で生理用品をどのように使っていくかを学ぶ機会を作る。 自宅で親の購入した生理用品が自分の体にあっているものかを改めて考える機会をつくる。

ウ) 保護者向け性教育講座

・生理とリプロダクティブヘルス・ライツについて

性教育に男女差のあった親世代にむけて、今の子どもたちをとりまく現状を知る機械の提供・生理用品の吸水実験・様々な生理用品を知り、心と体を大切に子どもへの性教育についての講話 実際に吸水量を目視することで、自身の生理に向き合う時間をつくり、子どもとの違いがあることを知るきっかけとする。新しい生理用品を紹介することで、知識のアップデートと親子でも体に合う生理用品が異なる場合もあることを知る機会とする。

エ) 支援学級親子向け

・BOX型ナプキン製作と生理についてのお話会

生理用品と向き合いながら、親から子へ伝えたいメッセージを書いたり、気分が上がるイラストを書いたりすることで、生理について考える時間を作り大切に想い合うつながりと、自分を守る知識を身につけていく。

②ア、イ学校ごとに合わせたオーダーメイドの性教育授業

は協議の結果提案を取り下げ、ウ) エ) については内容をイベント企画へ盛り込むこととする

③啓発イベント企画運営

ア) ①オリジナルアロマクリーム製作60分20人

生理のときの気分を和らげたり、自分を労るためのアロマ講座

ア) ②オリジナルボックス型ナプキン製作60分10人

生理用品と向き合いながら、生理について考える時間を作り大切に想い合うつながりと、自分を守る知識を身につけていく。

ア) ③絵本の読み聞かせと性教育絵本の紹介60分20名

年齢に応じた適切な性教育の本の選び方のアドバイス

③-アを①とし、以下に記す

①小規模啓発イベント企画運営（2回）

1回目

絵本読み聞かせ&外部講師による心とからだを守るお話会

年齢に応じた適切な性教育の本の選び方のアドバイス

講師：山口修平氏（日本性教育学会理事・児童福祉施設一宮学園副施設長）

2回目

オリジナルアロマクリームの制作

生理のときの気分を和らげたり、自分を労るためのアロマ講座

オリジナルBOX型ナプキンのデザイン

生理用品と向き合いながら、生理について考える時間を作り大切に想い合う

イ) 映画「うまれる」上映会300分20名

まるで自宅のリビングにいるような

リラックスできる環境でちいさな子どもと一緒にいのちのうまれる瞬間を捉えたドキュメンタリー映画をのんびり鑑賞できる機会をつくる。

③-イを②とし以下に記す

②映画上映イベント『うまれる』（2回）

乳幼児もいっしょに親子で映画鑑賞。映画を通して命の尊さを感じる

ウ) イオン啓発イベント（講師なし）◎1回実施

お買い物ついでに立ち寄れる場所で、老若男女どなたにもリプロダクティブヘルス/ライツにまつわる知識を得る機会を作る。

エ) イオン啓発イベント講師2名◎1回実施

ウ) の内容に加えて、講師に分子栄養学の専門家による思春期に特にとりたい栄養の話や、理学療法士による経血コントロール、腔筋トレーニングの話気軽に聞ける場とする。

③-ウ、エを③とし、以下に記す

③大規模イベント（2回）

お買い物ついでに立ち寄れる場所で、老若男女どなたにもリプロダクティブヘルス/ライツにまつわる知識を得る機会を作る

パネル展示や、関連書籍、各種生理用品等による啓発活動・実験（イオンホール）

保育士による性教育絵本の読み聞かせ

オリジナルアロマクリームの制作

掲示物に関する質問相談会

講師：須藤えり奈氏（看護師・分子栄養学アドバイザー）

講師：佐野太一氏（公認心理士・心理カウンセラー）

講師：原田加奈子氏（理学療法士）

④個別相談の日

各種イベントや、講座に参加した人が、もっと話をききたい、相談に乗ってほしいとの要望に応じて月1回の開催をし、継続的な支援が必要な場合は行政につなげていく。

④の改定案を、以下に記す

④個別相談（年10回）

毎月固定週、固定曜日にて男女共同参画センターにて仮称こっとなカフェを開催（当日自由来所）

ゆったりと過ごせる空間で、掲示物や、展示物をもとに相談者が正しい情報に触れる機会を設ける。相談員とゆっくりと信頼関係を築きながら、行政へ繋ぐ必要がある場合には同行して対応する。

<p>貴団体の特性、協働で実施するメリット（提案者が事業実施できる能力や有利なアピールポイント）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者・同性・当事者の目線で子どもの真のニーズを掴みます。 ・全員が小中高生の保護者であり、多種多様な社会貢献活動に従事し、豊富な知識と専門スキルを持っています。 ・PTA、保教会本部役員（2018～2024） ・子育て支援員 ・認知症サポーター ・民生委員・児童委員 ・ピアヘルパー ・幼児体育初級公認指導員 ・おもちゃインストラクター ・こども環境管理士2級 ・幼稚園教諭 ・保育士 ・特別支援学校教諭 ・社会福祉主事 ・インクルーシブ保育・教育支援士 ・体験活動セイフティリーダー（ASL） ・子どもの救急法国際資格（EFR-CFC） ・体験活動セイフティマネージャー（ASM） ・准学校心理士 ・高等学校教諭一種免許 ・戦略～企画～運用までワンストップで対応します。
<p>事業実施により得られる効果（自由提案型は今後の展望も記入）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・印西市では転入者が増え、核家族世帯が多いため、イベントを通して、人とのつながりを生み出す機会を設ける事ができる。 ・現在は、団体メンバーの子どもが所属していたり、PTAや保教会でのつながりによる学校や、希望者を集めた小規模での開催が多かった。市の協働事業として動くことで、市内のさまざまな場所での啓発活動が可能となり、より多くの市民にリプロダクティブヘルス・ライツについて知っていただくことができる。 ・これまで行ってきた活動の来場者アンケートの中に、母娘で参加したが次回機会があれば父息子も一緒に参加したいなど、今後の開催を期待する声が多く届き、そういった声に答えるべく誰でも参加し易い形を団体として常に考えてきた。月経にまつわる話を女性の話と限定することなく、『命』をテーマの根幹において性教育講座をすることで、男女が互いに人権を尊重し、性別関係なく一人ひとりが持っている個性や能力を十分に発揮できる地域社会づくりへの効果が期待できる。

(提案書 様式② 最終審査)

協働事業計画書			
事業名	#私たちの保健室～みんなで繋がり合える印西市を目指して～		
事業の目的	リプロダクティブ・ヘルス・ライツを念頭に置いた啓発活動や、講座の開催をし、男女共同参画の推進を図る		
市の施策上の位置付け及び協働部署	(施策名) 男女共同参画に関わる啓発事業の実施 (部署名) 市民活動推進課男女共同参画係		
事業期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日		
事業の内容 詳細に役割分担別に記入 (役割分担を、できれば 事前に市の担当に相談し て記すか、希望を記す)	提案者	市	
	<ul style="list-style-type: none"> 講師の手配 備品の手配 周知(広報原案、ポスター案及びポスター印刷) スケジュール作成、イベント運営、報告 各イベントの運営の人員確保 	<ul style="list-style-type: none"> 会場の手配 周知(ポスター配布、スクリレ、広報掲載、市HP、SNS) ちば電子申請での、参加者受付、人数把握及び名簿作成 イベント当日の鍵の受け渡し、会場の管理 	
事業に要する経費 ※詳細については、様式③による	0円	1,160,290円	
事業の運営体制 (事業関係者、協力者、有資格者など)	①専門的な知識を持った外部講師、提案者メンバー ②提案者メンバー ③外部講師、内部講師、提案者メンバー、有償ボランティア ④提案者メンバー 各回2名体制		
協働のメリット (各立場にとっての効果 を簡潔に)	提案者	市民	市
	今までの規模よりも多くの市民にリプロダクティブ・ヘルス・ライツについて知ってもらうことができる。	心と体の健康について知識を得ることができるとともに、自分の体を自分で正しくケアし、守ることの大切さについて考えることができる。	市民団体の持つ幅広い知識や手法を活かした事業を展開することで、市民が心と体の健康を主体的に確保する機会を提供できる。
対話方法 市との協議や打ち合わせ方法	対面、メール		
事業の周知方法	周知方法 市のHP、SNS、広報、スクリレ、団体のSNS、ポスター		
評価の方法 (具体的な目標値)	目標値 ①30名(各回15名) ②40名(各回20名) ③140名(各回70名) ④10回(実施回数)		
備考	関係団体等・コットン・ラボ(株)		
	その他(添付書類等) 添付A:積算根拠 添付B:イベント展示品など		

(提案書 様式③ 最終審査)

企画提案型協働事業経費内訳書

無償分を含む総事業費 (金1,345,970円)

うち市に負担を求める額 (委託費) 金 1,160,290円

【歳入】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
市に負担を求める額		1,160,290
提案者が負担する額		0
その他収入		0
無償分を含めない合計額		1,160,290
無償労働力等換算金額	無償労働力184,680円ボランティア保険1,000円	(185,680)
無償分を含む総事業費		(1,345,970)

【歳出】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
人件費	①講座2回②映画2回③イベント2回④個別相談会10回 ※添付資料A参照	611,700
報償費	外部・内部講師指導謝礼 ※別紙参照	120,000
旅費・交通費	外部講師交通費、交通費 (ガソリン代) ※添付資料A参照	55,090
印刷製本費	告知チラシ・ポスター・プログラム等 ※添付資料A参照	62,800
使用料	会場使用料・映画放映料(各2回) ※添付資料A参照	98,000
消耗品費	※添付資料A参照	201,500
保険料	傷害保険@28円 ※別紙参照	11,200
無償分を含めない合計額		1,160,290
提案者が負担する 無償労働力 (A)	※添付資料A参照	(184,680)
提案者が負担する 無償機材等 (B)	ボランティア保険	(1,000)
無償労働力等換算金額	(A) + (B)	(185,680)
無償分を含む総事業費		(1,345,970)

年間事業スケジュール

実施予定日	活 動 内 容	参加人数
2025年4月 2025年5月	年間事業打ち合わせ 事業準備	
2025年6月	①小規模啓発イベント企画運営－1回目－ 絵本読み聞かせ&外部講師による心とからだを守るお話会 講師：山口修平氏（日本性教育学会理事・児童福祉施設一宮学園副施設長）	20名
2025年7月	②映画上映イベント『うまれる』－1回目－ 乳幼児もいっしょに親子で映画鑑賞。映画を通して命の尊さを感じる	50名
2025年8月	③大規模イベント－1回目－ 掲示物による啓発活動・実験（イオンホール） 保育士による性教育絵本の読み聞かせ オリジナルアロマクリームの制作 掲示物に関する質問相談会 講師：須藤えり奈氏（看護師・分子栄養学アドバイザー） 講師：佐野太一氏（公認心理士・心理カウンセラー） 講師：原田加奈子氏（理学療法士）	100名
2025年10月	①小規模啓発イベント企画運営－2回目－ オリジナルアロマクリームの制作 オリジナルBOX型ナプキンのデザイン	20名
2025年12月	③大規模イベント－2回目－ 掲示物による啓発活動・実験（イオンホール） 保育士による性教育絵本の読み聞かせ オリジナルアロマクリームの制作 掲示物に関する質問相談会 講師：須藤えり奈氏（看護師・分子栄養学アドバイザー） 講師：佐野太一氏（公認心理士・心理カウンセラー） 講師：原田加奈子氏（理学療法士）	100名
2026年2月	②映画上映イベント『うまれる』－2回目－ 乳幼児もいっしょに親子で映画鑑賞。映画を通して命の尊さを感じる	50名
2025年6月～2026年3月	④個別相談（年10回） 毎月固定週、固定曜日にて男女共同参画センターにて仮称（こっとなカフェ）を開催（当日自由来所） ゆったりと過ごせる空間で、掲示物や、展示物をもとに相談者が正しい情報に触れる機会を設ける。相談員とゆっくりと信頼関係を築きながら、行政へ繋ぐ必要がある場合には同行して対応する。	60名 6名×10回

番号	品目	①-1	①-2	②	③	④	計	
1	人件費	講座及びプログラム作成	31500	25200	63000	240000	252000	611700
2	報償費	外部講師謝礼・団体内講師謝礼	15000	5000	0	100000	0	120000
3	旅費・交通費	外部講師交通費	5000	0	0	40000	0	45000
		交通費（ガソリン代）	150	320	420	4800	4400	10090
4	印刷製本費	チラシ・ポスター・講座プログラム	8000	8000	16000	26800	4000	62800
5	保険料	イベント保険	560	560	2800	5600	1680	11200
6	使用料	会場使用料	0	0	54000	44000	0	98000
7	消耗品費	文具・インク・用紙・生理用品等	2000	10000	0	184000	5500	201500
8	無償分を含めない合計額		62210	49080	136220	645200	267580	1160290
9	提案者が負担する無償労働力（A）事業の準備・調整		14364	14364	32832	49248	73872	184680
10	提案者が負担する無償機材等（B）損害保険（@100×10名）							1000
11	無償労働力等換算金額		14364	14364	32832	49248	73872	185680
12	無償分を含む総事業費		76,574	63444	169052	694448	341452	1345970

番号	品目	①-1小規模啓発イベント企画運営1回目：絵本読み 聞かせ&外部講師による心とからだを守るお話し そうふけ公民館	単価	数量	単 位	計	備考
1	人件費	講座及びプログラム作成	2100	15	h	31500	人件費= ¥2100/h×5h×3人
2	報償費	外部講師謝礼・団体内講師謝礼	15000	1	式	15000	外部講師¥15000×1人
3	旅費・交通費	外部講師交通費	5000	1	式	5000	外部講師1人
		交通費（ガソリン代）	20	7.5	km	150	そうふけ公民館往復2.5km×3人
4	印刷製本費	チラシ・ポスター・講座プログラム	8000	1	式	8000	チラシ制作@20×100、ポスター@300×20
5	保険料	イベント保険	28	20	人	560	
6	使用料	会場使用料	0	0		0	
7	消耗品費	文具・インク・用紙・生理用品	2000	1	式	2000	文具¥2000
8	無償分を含めない合計額					62210	
9	提案者が負担する無償労働力 (A)	事業の準備・調整	1026	14	h	14364	デザイン制作8h、企画打合4h、進捗管理2h
10	提案者が負担する無償機材等 (B)						
11	無償労働力等換算金額					14364	
12	無償分を含む総事業費					76574	

番号	品目	①-2小規模啓発イベント企画運営2回目：BOX制 作とアロマクリーム製作 牧の原交流センター	単価	数量	単位	計	備考
1	人件費	講座及びプログラム作成	2100	12	h	25200	人件費= ¥2100/h×4h×3人
2	報償費	外部講師謝礼・団体内講師謝礼	5000	1	式	5000	内部講師¥5000×1人
3	旅費・交通費	外部講師交通費	0	0		0	
		交通費（ガソリン代）	20	16	km	320	牧の原交流センター往復4km×4人
4	印刷製本費	チラシ・ポスター・講座プログラム	8000	1	式	8000	チラシ制作@20×100、ポスター@300×20
5	保険料	イベント保険	28	20		560	
6	使用料	会場使用料	0	0		0	
7	消耗品費	文具・インク・用紙・生理用品	500	20	人	10000	アロマ材料費@500×20人
8	無償分を含めない合計額					49080	
9	提案者が負担する無償労働力（A）	事業の準備・調整	1026	14	h	14364	デザイン制作8h、企画打合4h、進捗管理2h
10	提案者が負担する無償機材等（B）						
11	無償労働力等換算金額					14364	
12	無償分を含む総事業費					63444	

番号	品目	数量	単位	回数	計	備考
	②映画上映イベント『うまれる』50名 2回実施 ・そうふけ公民館 ・牧の原交流センター					
1	人件費	2100	15 h	2	63000	人件費= ¥2100/h×5h×3人
2	報償費				0	
3	旅費・交通費	0	0	0	0	
	交通費（ガソリン代）	20	10.5 km	2	420	そうふけ公民館往復2.5km、牧の原交流センター往復4km(平均約3.5km)、×3人
4	印刷製本費	8000	1 式	2	16000	チラシ制作@20×100、ポスター@300×20
5	保険料	28	50 人	2	2800	
6	使用料	27000	1 式	2	54000	映画使用料
7	消耗品費	0	0 式	0	0	
8	無償分を含めない合計額				136220	
9	提案者が負担する無償労働力（A） 事業の準備・調整	1026	16 h	2	32832	デザイン制作8h、企画打合4h、進捗管理4h
10	提案者が負担する無償機材等（B）				0	
11	無償労働力等換算金額				32832	
12	無償分を含む総事業費				169052	

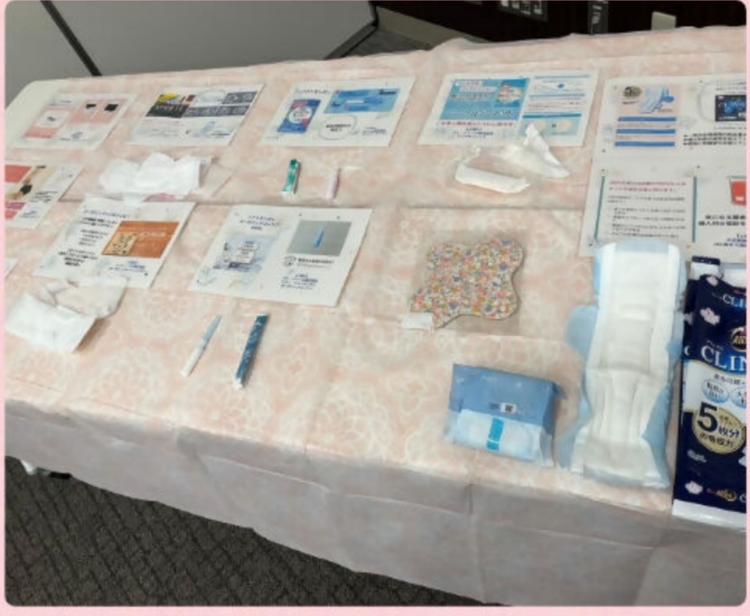
番号	品目	③大規模イベント2回（イオン）	単価	数量	単 位	回 数	計	備考
1	人件費	講座及びプログラム作成	2100	32	h	2	134400	人件費= ¥2100/h×8h×4人
			1100	48	h	2	105600	有償ボランティア ¥1100×8h×6
2	報償費	外部講師謝礼・団体内講師謝礼	50000	1	式	2	100000	外部講師¥15000/日×3人、 内部講師¥5000/日×1人
3	旅費・交通費	外部講師交通費	5000	4	人	2	40000	内部講師、外部講師
		交通費（ガソリン代）	20	120	km	2	4800	
4	印刷製本費	チラシ・ポスター・講座プログラム	13400	1	式	2	26800	チラシ制作@20×200、ポスター@300×30、 実験プログラム制作@10×40人
5	保険料	イベント保険	28	100	人	2	5600	
6	使用料	会場使用料	22000	1	式	2	44000	イオンホール会場
7	消耗品費	文具・インク・用紙・生理用品等	92000	1	式	2	184000	配布生理用品、展示品= ¥50000（添付B）、 実験道具@500×40人= ¥20000、文具¥5000 、装飾品¥2000、アロマ材料費@500×30人 =15000
8	無償分を含めない合計額		185648				645200	
9	提案者が負担する無償労働力（A）	事業の準備・調整	1026	24	h	2	49248	デザイン制作8h、資料制作8h、企画打合4h 、進捗管理4h
10	提案者が負担する無償機材等（B）						0	
11	無償労働力等換算金額						49248	
12	無償分を含む総事業費						694448	

番号	品目	④個別相談 月1回 (全10回)	単価	数量	単位	回数	計	備考	
1	人件費	講座及びプログラム作成		2100	12	h	10	252000	人件費=¥2100/h×6h×2人×10ヶ月
2	報償費	外部講師謝礼・団体内講師謝礼						0	
3	旅費・交通費	外部講師交通費		0	0	式	0	0	
		交通費 (ガソリン代)		20	22	km	10	4400	
4	印刷製本費	チラシ・ポスター・講座プログラム		20	200	式	1	4000	チラシ制作@20×200
5	保険料	イベント保険		28	6	人	10	1680	新センター (駅前交流館の隣) 往復 11km×2人
6	使用料	会場使用料		0	0	式	0	0	
7	消耗品費	文具・インク・用紙・生理用品		5500	1	式	1	5500	文具¥1000、インク代¥4000 (cannon 家庭用インク年間コストサイト参照)、 用紙¥500
8	無償分を含めない合計額			7668			1	267580	
9	提案者が負担する無償労働力 (A)	事業の準備・調整		1026	72	h	1	73872	デザイン制作8h、資料制作8h、企画打合 4h、進捗管理52h(1h×52週)
10	提案者が負担する無償機材等 (B)								
11	無償労働力等換算金額							73872	
12	無償分を含む総事業費							341452	



スキニッシュサニタリーボックスショーツ ¥6,050 /

WIPIE 15シート ¥3,278 / laugh.
Ads by UNICORN



クロッチ前面 無漂白オーガニックコットン 吸水サニタリーショ



YOJOY 吸水サニタリーショーツ ¥4,180 / ワコール

【ケース販売】肌ケア アクアティクス 入浴おむつアー ¥6,530 ¥7,255 prime

ブランド: メルーナジャパン 4.4 ★★★★★ (26)

メルーナ 月経カップを清潔に保つ除菌用ミルトン (10個入り)

過去1か月で100点以上購入されました

サイズ: 10個 (x 1)

10個 (x 1)	50個 (x 1)
¥396 (¥396 / 個) 在庫あり。	¥1,480 (¥1,480 / 個) 在庫あり。

月経カップ洗浄用カップ 洗浄 消毒 沸騰消毒 電子レンジ対応 折りたたみ式 生理用品 クリーンカップ (オレンジ*1)



色: オレンジ

オレンジ ¥1,799 (¥1,799 / 枚) 残り16点 ご注文は早めに	グリーン ¥1,699 (¥1,699 / 枚) 残り13点 ご注文は早めに	ピンク ¥1,799 (¥1,799 / 枚) 在庫あり。
---	---	--



ベアックネーションショーツ04 ¥7,480 / ベア

生理期間中も快適で自由的に過ごせます

過去1か月で50点以上購入されました

色: ピンク

ピンク	パープル	赤
-----	------	---

サイズ: L

S ¥3,280 (¥3,280 / 個) 在庫あり。	L ¥3,280 (¥3,280 / 個) 在庫あり。
--------------------------------------	--------------------------------------

Amazon Mastercard (年会費・入会費 永年無料) は、Amazonでの買い物がいつでも+2.0%のポイント (プライム会員 限定) | 入金ポイントを得るにはログインしてください。詳しく見る

通常の注文 ¥2,850 税込
無料配送 9月12日 本曜日にお届け



任の健康・リレーションシップ教育スライド教材 ¥4,400

DVD | 性の健康リレーションシップ教育教材AM... ¥2,500

冊子 | 性の健康リレーションシップ教育教材AMA... ¥500

パンフレット | 保護者向け「おうちで伝える性のお...」 ¥400

Amazon Mastercard (年会費・入会費 永年無料) は、Amazonでの買い物がいつでも+2.0%のポイント (プライム会員 限定) | 入金ポイントを得るにはログインしてください。詳しく見る

¥2,250 (¥2,250 / 個)